

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

生体腔内に挿入可能な導入管 内に操作ワイヤ を進退自在に挿通して設け、前記操作ワイヤ の先端部に直接係合したクリップ は、その基端部より延出する腕部の先端に挟持部を形成して開拡習性をもち、前記クリップ が前記導入管 の先端部に係合し、前記クリップ の基端部と操作ワイヤ の先端部を引き離す方向の力が印加された際に、前記クリップ の基端部もしくは前記操作ワイヤ の先端部の少なくとも一方に設けられた係合手段のうち、少なくとも一方が変形して前記クリップ と前記操作ワイヤ の係合を解除することを特徴とする。